

各公園 マネジメントプラン（案）

大阪府

【概要版】箕面公園マネジメントプラン（案）

『箕面大滝や紅葉、新緑など、豊かな北摂地域の自然を手軽に楽しむことのできる公園』

①取組基本方針

公園の特色を活かす

- ・箕面大滝や豊かな自然を生かした、国内外からの集客・観光の振興を図る公園

民間活力の導入

- ・滝、モミジ、新緑などの自然の資源を活用した景観やイベントを楽しむことのできる公園
- ・箕面公園の豊かな自然を活かしてアクティビティにより、健康寿命の延伸を図ることができる公園

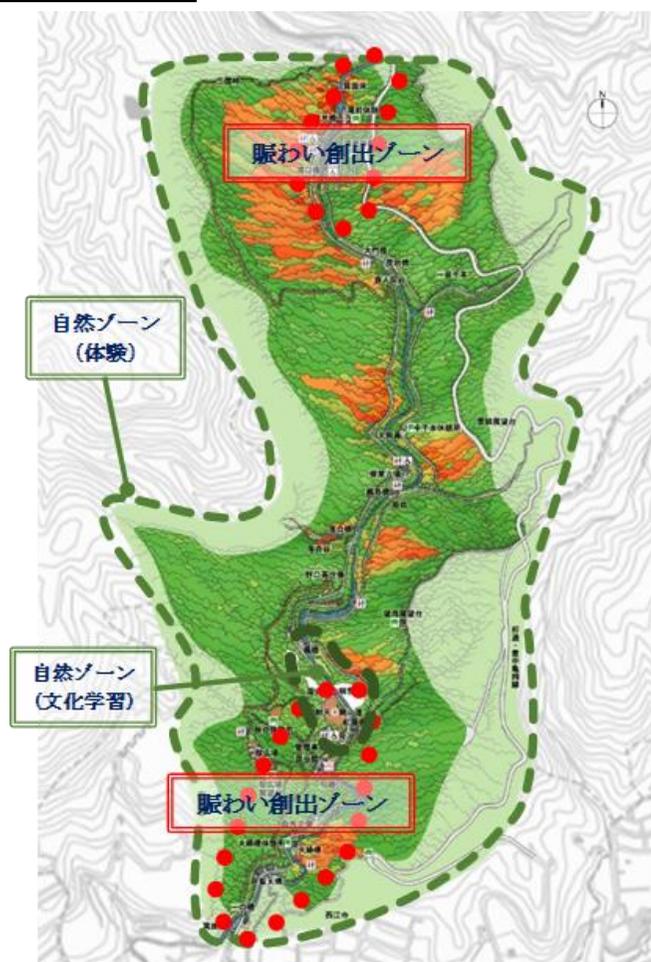
安全・安心・快適

- ・斜面地の安全対策を進め、利用者が自然と共に安心して過ごせる公園

都市の環境を保全

- ・多様な主体と連携し、公園の豊かな自然を楽しむことのできる公園
- ・日本三大昆虫生息地としての魅力を活かし、昆虫館を中心とした自然環境学習を進め、自然と触れ合うプログラムを年中楽しめる公園

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

賑わい創出ゾーン

- 箕面大滝、瀧安寺前広場、昆虫館、梅屋敷を中心として、周辺の施設と連携し国内外の観光客を呼び込む観光拠点として賑わいを創出するゾーン

自然ゾーン（体験）

- 箕面山や箕面川の豊かな自然を身近に感じ、体験できるゾーン（公園全域）

自然ゾーン（文化学習）

- 箕面の自然や昆虫を学べる昆虫館を中心に自然文化を体験・学習できるゾーン

④取組の主な方針

運営管理の方針

- ・箕面大滝を観光資源として国内外から多くの観光客が訪れるため、誰にでも楽しめる公園づくりを推進し、観光を振興。
- ・観光協会や企業、地域住民などの連携し、箕面公園の集客力を高め、周辺地域の活性化に貢献。
- ・昆虫館と箕面公園の連携を強化し、自然環境と昆虫をテーマとした環境づくりを推進し、昆虫生息地としての魅力向上。

維持管理の方針

- ・多くの昆虫が生息する新緑や紅葉が美しい森として植生を再生し、生物多様性を確保。
- ・箕面公園の美しい景観の重要な構成要素であるモミジを長期的な計画に基づき、再生・更新。
- ・常緑樹の計画的な維持管理を実施し、多様な昆虫が棲めるような明るく豊かな樹林地として再生。

<参考>公園の概要

- ・概要：古くから滝と猿、溪流と楓で知られ、明治の森箕面国定公園内にあり、名勝箕面山指定及び野猿生息地として天然記念物に指定されている。多様な植物と昆虫の宝庫として、春は新緑、夏は納涼、秋は紅葉と四季折々に装いを美しく替え、騒音や塵埃から離れて美しい自然に接することができるため、府民のレクリエーションや自然観察の場として、また観光地としても親しまれている。滝道沿いにある昆虫館には全国でも有数の昆虫標本のコレクションが展示され、年間を通じてチョウが舞う放蝶園は来館者の人気を集めている。
- ・開設面積：83.8 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約146万人
- ・開設年度：明治31年5月20日
- ・主要施設：箕面大滝、ハイキング道、休憩所、昆虫館



周辺見取り図

ベース図：NTT空間情報株式会社

①取組基本方針

公園の特色を活かす

- ・テニスコートなどの運動施設を活用した健康づくりの促進
- ・ファミリーレクリエーション施設の充実により、幅広い年齢層が楽しめる公園

民間活力の導入

- ・多様な運動施設の充実やイベントプログラムの実施により賑わいを創出する公園
- ・企業や地域住民と連携した都市型野外イベントの充実を図る公園

安全・安心・快適

- ・洪水時に、寝屋川の水を引き込み一時貯留する洪水調整機能を備えた公園
- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園

都市の環境を保全

- ・江戸時代初期まで存在した河内湖の名残で、人工的に再現した深野池の水生生物や水生植物とふれあい、水辺景観を活かし憩いの場を提供
- ・サクラやメタセコイヤなどの花木や紅葉による四季を感じる景観の保全

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

賑わい創出ゾーン

- 芝生広場など開放感のある空間を活用し、イベント等を通じて賑わいを創出するゾーン

自然ゾーン (体験・親水)

- 深野池の自然環境を保全し、親水空間を体験するゾーン

スポーツゾーン

- スポーツを通じて健康づくりを楽しむゾーン

④取組の主な方針

運営管理の方針

- ・散策や軽運動など、心とからだの健康づくりが楽しめるよう、開放感のある空間を活用したスポーツ教室等の取組の充実。
- ・芝生広場を活用し、学校・企業・地域住民と連携した音楽やダンスイベント等、にぎわい創出につながる都市型野外イベントの充実。
- ・飲食機能の充実や園内アクセス機能の向上を通じて、新たな魅力や付加価値により、賑わいを創出。
- ・遊水地機能に関して河川管理者と連携し、越流時の公園利用者の退避誘導や使用禁止措置を行い、公園利用者の安全を確保。

維持管理の方針

- ・みどりの中でスポーツが楽しめるよう「みどりのボリュームアップ」を図るため、次世代に残るシンボリックな樹林地を育成。
- ・河内湖の名残で、人工的に再現した深野池の水辺景観を保ち、背の低い草本や背の高い草本をバランスよく配置した草地管理の実施。
- ・深野池の水辺等において、ヨシやレンコンなどの湿生植物や水棲生物等の生息空間の保全・環境整備を実施し、生物多様性を確保。

<参考>公園の概要

- ・概要：寝屋川市、大東市の両市にまたがり、寝屋川、江蟬川、権現川に接し、寝屋川水系の洪水被害を防ぐため、洪水調整機能を備えた多目的遊水地公園として整備された。湛水頻度により、次の3つのゾーンに分かれる。
- ①水辺のゾーン：3～5年頻度で湛水、減勢池「深野池」を設置
- ②ふれあいゾーン：10年頻度で湛水
- ③スポーツゾーン：30年の頻度で湛水
- ・開設面積：41.0 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約75万人
- ・開設年度：平成3年11月8日
- ・主要施設：テニスコート、軟式野球場、球技広場、芝生広場、児童遊戯場とりで広場、桜の園



【概要版】枚岡公園マネジメントプラン（案）

『生駒山麓の豊かな自然を守り育てながら、山の四季・眺望と地域の歴史文化を楽しむ公園』

①取組基本方針

公園の特色を活かす

- ・大都市大阪に近接した生駒山ハイキングの玄関口として、また隣接する「府民の森」や「枚岡神社」、「暗越奈良街道」等の文化資源を活かした、広域集客力のある公園
- ・まちから眺める生駒山系の美しい景観-「借景」を守る公園
- ・歴史ある「枚岡梅林」を府民とともに守り・育む公園

民間活力の導入

- ・生駒山系の豊かな自然を活かし、枚岡神社や地元商工会等、多様な主体と交流・連携し、地域の魅力向上と積極的な情報発信を図る公園

安全・安心・快適

- ・山麓の自然を保全・育成することで、山の自然災害を防ぎ、まちの安全を守る公園

都市の環境を保全

- ・遠足・ハイキングから、クラフト教室や森林浴まで、「山麓の森林公園」の特性を生かし、府民の心身の健康を支える多様なプログラムが展開される公園
- ・生駒山麓とまちの結節点として、自然や景観等の「緑のネットワーク機能」を有する公園

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

自然・歴史・眺望ゾーン

- 生駒山等への主要ルートとして、多くのハイカーが利用するゾーン
- 山からまちへの眺望を確保するゾーン
- まちから眺める山の景観を担保するゾーン
- 生駒山麓の斜面樹林を保全・育成するゾーン
- 自然に親しみ、楽しめる様々なプログラムが展開されるゾーン

交流・連携ゾーン

- 遠足児童や多くのハイカー等のエントランスとなるゾーン
- 名勝「枚岡梅林」の景観や地域の歴史・文化を次世代へ継承するゾーン
- 地域の活性化・交流人口増を目指し、府民の森・枚岡神社や地域と連携・協力しながらマネジメントしていくゾーン

④取組の主な方針

運営管理の方針

- ・ハイキングやバードウォッチング等、「府民の森」や地域と連携した自然に親しむ公園利用を促進し、山の散策機能を充実。
- ・名勝枚岡梅林や芭蕉句碑、暗峠等の歴史的・文化的資源について積極的な情報発信やイベント等での連携・交流等を実施。
- ・枚岡山展望台・額田山展望台周辺等を舞台に、ネイチャーガイドやクラフト教室等、豊かな自然資源を生かした自然体験プログラムを提供。

維持管理の方針

- ・クヌギ・コナラなどの二次林について、長期的な計画に基づいた維持管理を実施し、安全で景観に優れた樹林地として再生。
- ・梅林について、日常より輪紋ウイルス病等に関する情報収集に努め輪紋ウイルスの感染防止に取り組み、適切な防御を実施。

<参考>公園の概要

- ・概要：生駒山系の山麓に位置する森林公園として、比較的急峻な地形にクヌギ、コナラを主体とした山林に覆われ、枚岡梅林のウメをはじめ、園内各所のサクラ類・ツツジ類、暗溪のモミジ等、山の四季の移ろいを楽しむことができる。暗溪をはさんで北に額田山、南に枚岡山があり、それぞれの展望台からは河内平野から大阪城、遠くは明石海峡大橋や六甲の山並みを一望することができる。枚岡公園から生駒山上に至る摂河泉展望コース、「府民の森」なるかわ園地に至る神津嶽コースなどのハイキングコースの玄関口として、また市街地に隣接した身近な森の遠足地として、人気がある。

- ・開設面積：43.8 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約71万人
- ・開設年度：昭和13年2月21日
- ・主要施設：ハイキングコース、桜広場、展望台、児童遊戯場



周辺見取り図

①取組基本方針

公園の特色を活かす

- ・羽曳野丘陵の自然を活かした里山の魅力を体験できる公園

民間活力の導入

- ・多様な主体と連携し河内の里やパークセンターを活用し利用者に里山の自然を楽しむプログラムを提供する公園
- ・四季折々の季節を感じる里山の自然とともに遊戯施設などあらゆる年代の利用者に楽しんでもらえる公園

安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園
- ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園

都市の環境を保全

- ・南河内の里山での環境学習や生き物の観察会など豊かな自然を体感できる公園
- ・里山の自然を府民と共に守り育て里山文化を次世代に伝える公園

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

賑わい創出ゾーン

- 駐車場からパークセンターなどの施設を通じて公園へ導く、主動線となるゾーン

自然ゾーン（体験）

- 南河内の農村風景を表現した河内の里や、やんちゃの里の児童遊戯場など利用者が最も多い錦織公園の顔となるゾーン

レクリエーションゾーン

- 水辺の里の児童遊戯場や北広場があり、家族でのんびり楽しめるゾーン

自然ゾーン

- 里山として管理されているコナラの二次林の中で散策を楽しむゾーン

④取組の主な方針

運営管理の方針

- ・南河内の昔の風景を再現した河内の里での農作業体験、地域の伝統文化に着目したイベント等、里山景観を活かした魅力向上。
- ・丘陵地（里山公園）の起伏に富んだ地形を活用し、山林の緑豊かな景観を演出。
- ・里山の景観を維持するため、府民参加のボランティアの方々と協力して、竹や高木の伐採作業を実施し、豊かな森を育成。

維持管理の方針

- ・極相林（クライマックス）に移行しないよう、間伐等による密度管理等を計画的に行い、里山としての二次林を保つ質の高い植栽管理。
- ・河内の里の伝統的な里山景観を創出する山野草の生育環境を整備し、里山と共存していた時代の河内らしい生活・風景を再現。
- ・里山の二次林の林床に生息するツツジ類を、里山景観を代表する植物として管理。

<参考>公園の概要

- ・概要：富田林市に位置しなつかしの里山風景を再現し維持するという計画ビジョンのもと、羽曳野丘陵の面影を残している起伏に富んだ地形、コナラ、アカマツを主体とした樹林地、大小の溜池等の自然地形を積極的に保全し活用を図り、豊かな緑の中で自然とのふれあいの場として整備された。
- ・都市のスプロール化を想定し、計画的に郊外に配置した結果、現在は周辺を住宅地に囲まれた貴重なみどりとなっている。
- ・開設面積：65.7 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約56万人
- ・開設年度：昭和62年4月1日
- ・主要施設：河内の里、児童遊戯場、梅の里、展望台、水辺の広場、桜木の里、つつじの丘、パークセンター



周辺見取り図

ベース図：NTT空間情報(株)

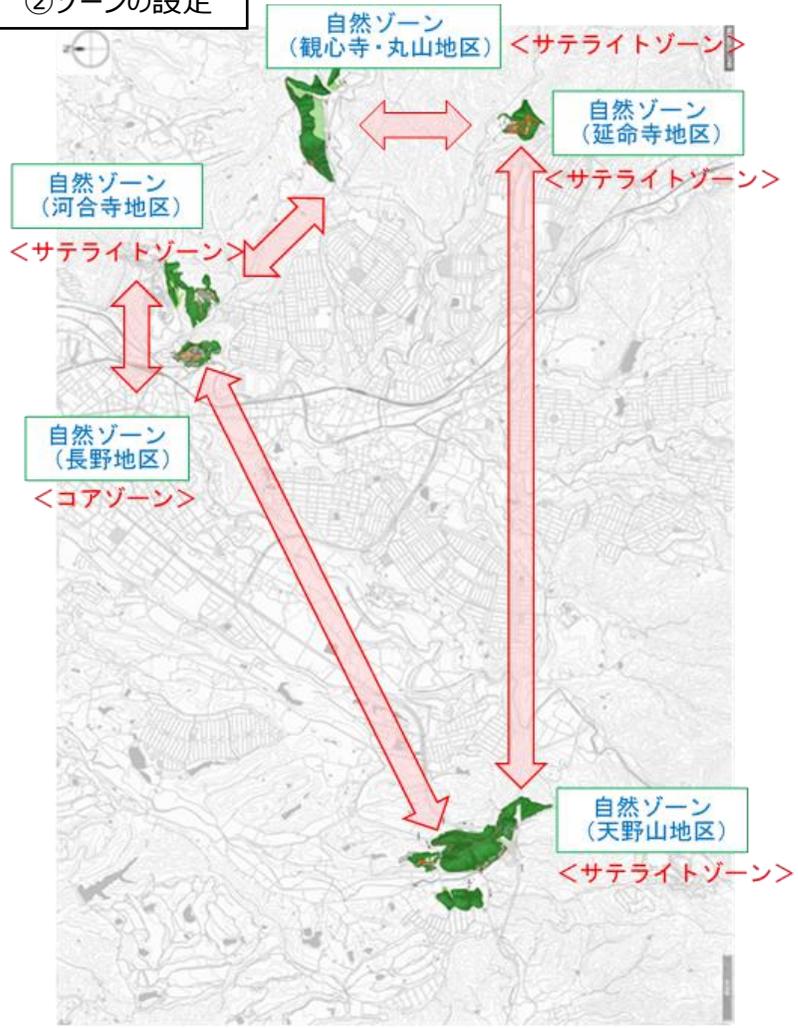
【概要版】長野公園マネジメントプラン（案）

『山の眺望と歴史資産を活かして奥河内の自然を楽しむ公園』

①取組基本方針

公園の特色を活かす	民間活力の導入	安全・安心・快適	都市の環境を保全
<ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産と連携・協力して、地域の魅力を高める公園 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の豊かな自然と地域の歴史を深く楽しむことができる公園 	<ul style="list-style-type: none"> 山の樹木を守り、周辺住民が安心できる公園 	<ul style="list-style-type: none"> 山の花木やモミジなどを利用者が楽しむことができる公園 山の生き物と触れ合うソフト事業等が展開される公園

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

- 自然ゾーン（長野地区）**
 - 駅に最も近く、周辺の展望を活かし、子供や家族づれが生き物やみどりにふれあう地区
- 自然ゾーン（河合寺地区）**
 - 豊富な花木や金剛・和泉・葛城の山々の眺望などの良好な景色を楽しむ地区
- 自然ゾーン（延命寺地区）**
 - 延命寺の一部を借地し、紅葉、深い樹林やハス池などの歴史的な景観を楽しむ地区
- 自然ゾーン（観心寺・丸山地区）**
 - 日本遺産に認定された観心寺の一部を借地し、紅葉、うつろとしたスギ・ヒノキの林や明るい尾根の散策を楽しむ地区
- 自然ゾーン（天野山地区）**
 - 日本遺産に認定された金剛寺の一部を借地し、ムササビのいる原生林やスギ・ヒノキの大木の林のある、野外教育やデイクャンプを楽しむ地区

④取組の主な方針

- 運営管理の方針**
 - ・観心寺や延命寺の歴史ある寺院等と、景観面などで互いに協力しながら、その関係をさらに深めていくなど、歴史性のある立地条件を活用し、地域の活性化に貢献する。
 - ・山の公園の特色を活かした四季の風景を楽しめるハイキングや、5か所の展望台をめぐるウォーキング等、健康づくりの場を提供する。
 - ・風致林を守るとともに、斜面地を保全し、周辺住民が安心できる公園づくりを推進する。
 - ・樹木剪定や火災予防を行い、安全にも配慮しながら山の自然を楽しめるよう、天野山キャンプ場を管理運営する。
- 維持管理の方針**
 - ・延命寺地区の「蓮池（千重紅）」は、池全面のハスが繁茂し開花するよう、適切かつ継続的に管理を行うとともに、その養成等、長期的な視点で維持管理を行う。
 - ・長野地区、河合寺地区の「あじさい園」は、毎年、あじさいの開花時には一面が花が鮮やかになるように、長期的な視点で維持管理を行う。

<参考>公園の概要

- ・概要：大阪府南東部、金剛山山麓の南側に位置する。昭和26年10月に旧長野遊園地跡の長野地区、河合寺地区、観心寺/丸山地区、天野山地区の4地区が長野公園として開設され、昭和32年10月に新たに延命寺地区が編入、5地区となった。全面積46ha、これらはいずれも楠木一族南朝ゆかりの遺跡の多い所である。
- ・開設面積：46.3 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約21万人
- ・開設年度：昭和26年10月20日
- ・主要施設：広場（長野地区、天野山地区）、あじさい園（河合寺地区、長野地区）、展望台（長野地区、河合寺地区、観心寺・丸山地区、天野山地区）、回廊休憩所（長野地区）、休憩所（河合寺地区、延命寺地区、天野山地区）、キャンプ場（天野山地区）、児童遊戯場（長野地区、天野山地区）、便所（長野地区、河合寺地区、延命寺地区、天野山キャンプ場）、公園管理事務所



【概要版】住之江公園マネジメントプラン（案）

『花と緑の景観、歴史的資産を活用した水と緑あふれる都会のオアシスとなる公園』

①取組基本方針

公園の特色を活かす

- ・都市部に位置する貴重なオアシスとして、昭和初期に作られた公園の風格を活かし、多くの府民の憩いの場となる公園
- ・府民に愛される野球場をはじめ、多様な運動施設を活用したレクリエーション活動の中心となる公園

民間活力の導入

- ・運動施設や飲食機能の充実を図り、利用者サービスと公園機能の向上を図る
- ・地域、民間との連携により、一年を通じてイベントが開催される公園

安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園

都市の環境を保全

- ・都心部に位置する貴重なみどり空間として、園内の自然環境を保全し、さらなるみどり空間を創出する公園

②ゾーンの設定



③ゾーン別の方針

賑わい創出ゾーン

- 公園のエントランスとして地域と繋がり、賑わいを創出するゾーン

レクリエーションゾーン

- 子どもから大人まで一年を通じて様々なアクティビティを楽しむことのできるゾーン

スポーツゾーン

- 府民に愛される野球場を中心とし、スポーツやレクリエーションを楽しむことのできるゾーン

歴史景観保全ゾーン

- 昭和初期の面影を残す大池など、当時の造園技術を現代に伝える歴史景観を保全するゾーン

<参考>公園の概要

- ・概要：住之江公園は、大阪市の南西部に位置し、昭和5年に4番目の府営公園として開設された。面積は15.1haと住吉公園に次いで小さいながらも、交通の便が良く、野球場をはじめテニスコート、プールそして球技広場などの運動施設があり、「花と緑のスクエア」では四季折々の草花が楽しめる公園として親しまれている。
- ・開設面積：15.1 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約40万人
- ・開設年度：昭和5年10月8日
- ・主要施設：テニスコート、野球場、球技広場、プール、花と緑のスクエア、児童遊戯場

④取組の主な方針

運営管理の方針

- ・府民が身近に花とみどりにふれあえるよう、「花と緑のスクエア」などの花の景観を活かしたイベント等を実施。
- ・大正・昭和期につくられた歴史ある大池周辺の景観を残し、歴史的・文化的遺産として活用。
- ・大池を中心とした景観の保全や自然環境整備の保全を図るとともに身近な自然での環境学習活動を促進。

維持管理の方針

- ・花と緑のスクエアにおいて、整形形式花壇とそれを囲む施設を活かし、多様な花々が色彩豊かに成長していくよう維持管理を実施。
- ・池中のごみ除去や池畔の除草など、歴史ある大池の良好な池面景観を維持するよう適切な管理を実施。



周辺見取り図

ベース図：NTT空間情報研